

財投施策を通じた地方公共団体等との連携について

令和6年6月17日

財 務 省 理 財 局

財投施策を通じた地方公共団体等との連携について

- 財投機関においては、地方公共団体や地域事業者、金融機関等の課題解決に資する支援施策を有しつつも、地方拠点や人的リソースの不足等から、十分な広報ネットワーキングができず、地方での活動が限定的となる機関も見受けられた。
- こうした中、令和3年度より、財務局を通じて財投機関や地域関係者双方のニーズ把握に努め、これらの関係者をつなぐ様々な取組を積極的に実施。また、財務局においても地方公共団体との連携した独自の取組を実施。こうした取組により、財投施策を通じた地域連携は緩やかながらも着実に進捗。
- 今年度においても、これまでの取組について、継続的に実施。加えて、より実効性を高めるため、新たな取組（各取組の深化・工夫等）を実施。

継続的な取組

財務局と地方公共団体との連携

（財務局と地方公共団体が連携し、地域課題に対応した取組を実施）

PFI

（PFI機構がPPP/PFIの活用事例等を説明）

離島航路

（JRTTが支援施策等を説明）

地域公共交通

（国交省運輸局や大学と連携したセミナー開催）

公共施設等マネジメント

（先進団体の取組を紹介）

公営企業

（業務効率化等の好事例収集・横展開、セミナー開催等）

官民ファンドの地域金融機関等向け合同説明会

（官民ファンドの支援スキーム・事例等を地方金融機関等に対して説明）

新たな取組

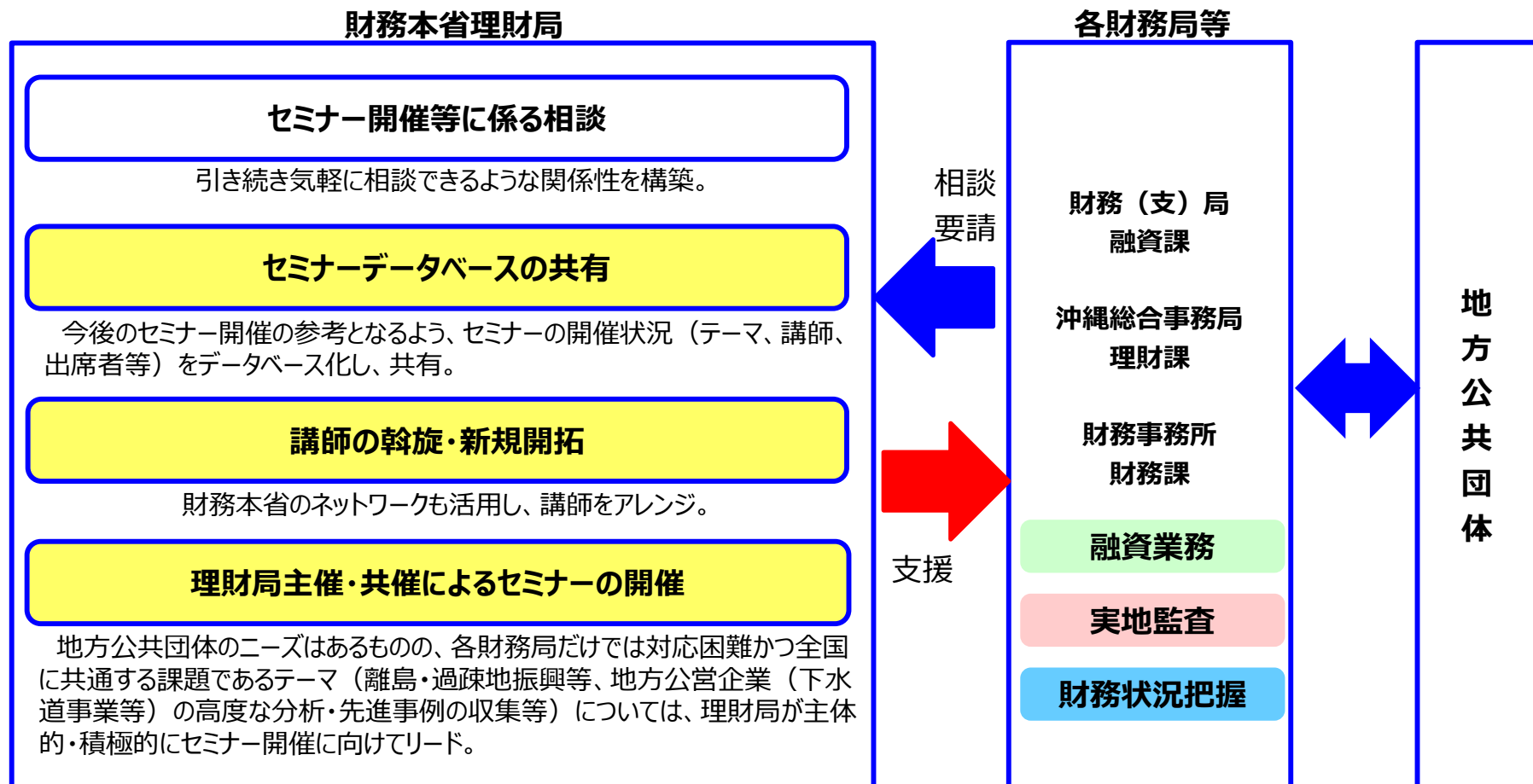
「財務本省理財局・地域課題解決よろず支援」
の開始

実地監査を担当する財務局職員の育成

官民ファンドによる地域案件発掘等の深化

財投施策を通じた連携の取組①（「財務本省理財局・地域課題解決よろず支援」）

- 各財務局等が実地監査や財務状況ヒアリング等の機会を通じて把握した地方公共団体の課題等について、各財務局等がセミナー開催等の取組を行う際には、各財務局等からの相談・要請に応じて、地方公共団体のニーズ等を捉えつつ、**財務本省が各財務局等に対して積極的な支援（サポート等）を行う「財務本省理財局・地域課題解決よろず支援」**を令和6年4月から開始。
- 具体的には、以下のような支援を実施。



奄美群島活性化応援セミナー

- 「地域課題解決よろず支援」の第一弾として、奄美群島活性化応援セミナー（開催日：令和6年4月24日）を実施。
- 本セミナーは、**財務本省理財局及び九州財務局鹿児島財務事務所**が主催、鹿児島県奄美市が共催した。
 - ・ 財務本省理財局は、本セミナーを企画し、奄美群島が抱える課題の解決に資するような有識者を選定した。
 - ・ 九州財務局鹿児島財務事務所及び名瀬出張所は、地域のつなぎ役として、奄美群島の実情及びニーズを的確に反映した地域貢献型のセミナーが開催できるよう、現地との調整に尽力した。
- 本セミナーでは、3名の有識者が登壇し、離島が抱える課題（PPP／PFIの活用、観光活性化、離島航路の維持）について講演を行った。

本セミナーの内容

- ◆ 財務省における地域連携の取組について
- ◆ PPP／PFIの活用
 - ・ PFI制度
 - ・ PFI活用事例（公営住宅・定住促進住宅等）
 - ・ PFI推進機構、内閣府におけるPFI支援制度
- ◆ 観光活性化
 - ・ 観光戦略づくりの基本的な考え方
 - ・ 公民連携パークマネジメント
 - ・ 観光活性化に資する公民連携の事例紹介
- ◆ 離島航路の維持
 - ・ 船舶共有建造制度及び技術支援業務

本セミナーの開催状況

奄美群島市町村の首長、議長、金融・経済業界の関係者及び他地域の離島市町村など、約130名が出席した（オンライン参加者を含む）。

本セミナーの様様



➡ 今後は、奄美群島が抱える各課題への取組状況について継続的なフォローアップを行っていく。

「財務本省理財局・地域課題解決よろず支援」のフォローアップ

- セミナー開催後も地方公共団体と財務局・財務本省理財局との関係をつなぎ、セミナーを有効なものとするため、地方公共団体の課題に対する対応状況について、フォローアップを実施していく。
- 具体的には、下記表のように定期的に確認していき、本分科会にも報告を行う予定。

(フォローアップイメージ)

日時	よろず支援の取組	課題	セミナーでの講演内容／説明事項	市町村の取組状況 (令和6年5月現在)
2024年4月24日	奄美群島活性化 応援セミナー	PPP/PFIの活用	【PFI推進機構 中嶋 官民連携支援センター長】 ・ PFI制度の説明 ・ PFI活用事例（公営住宅・定住促進住宅等） ・ PFI推進機構、内閣府におけるPFI支援制度	・ 令和4年度に官民連携推進室を新設し、PPP/PFIの積極的活用を目指し組織化を図る。 ・ 同年度に、庁内のPPP/PFI意思決定機関としての「奄美市庁内HAPPYプロジェクト会議」を設立するとともに、優先的検討規程を整備し、PPP/PFI手法の導入にあたっての必要な手続きを定めた。 ・ 同年度2月に、PPP/PFIの情報提供やノウハウを学ぶ場として、官民連携による奄美市PPPプラットフォームを設立した。 ・ 令和5年度以降、公共施設2件に対し、サウンディング調査を実施するなど、今後のPFI手法導入に向けた検討を行っている。 ・ 奄美市公共施設等民間提案制度により、公共施設等の利活用アイデアを募集。令和6年5月に募集要項を公表。
		観光活性化	【大和総研 鈴木主任研究員】 ・ 観光戦略づくりの基本的な考え方 ・ 公民連携パークマネジメント ・ 観光活性化に資する公民連携の事例紹介	・ 令和5年度に奄美群島の観光振興計画として「奄美群島観光島づくりプラン」を策定。奄美大島においても中長期（5年間）で観光戦略を策定。 ・ 公民連携パークマネジメントについては、奄美市内で都市公園が多数存在する中で、大浜海浜公園は導入できる可能性があり。 ・ 登録DMOである（一社）あまみ大島観光物産連盟と自治体が連携しKPIの目標設定を行い、観光PRや観光の受入体制強化、観光の人材育成等に取り組んでいる。
		離島航路の維持	【鉄道・運輸機構 共有船舶建造支援部 齋藤参与】 ・ 船舶共有建造制度（スキーム・資金の流れ等） ・ 技術支援業務（具体的な内容・流れ等）	・ 町営定期船せとなみの更新にあたり、JRTTとの共有建造を予定している。 ・ JRTTへの共有建造申込に必要な、造船所と建造申込価格を決定するための簡易公募型プロポーザルを実施中。5月末参加表明期限、6月末提案提出期限。7月審査選定予定。

セミナー開催等、対応の都度、追加していく。

財投施策を通じた連携の取組②（実地監査・官民ファンド関連）

実地監査を担当する財務局職員の育成

- 財務局では、財政融資の貸付先である地方公共団体等に対して実地監査を実施。アドバイス機能の充実に
より監査の効果向上に努めてきたところ。よりアドバイス機能を充実させるには、財務局職員が、地方公共団体の
課題解決に向けた取組の趣旨を深く理解し、主体的かつ円滑に取組を進めていくことが重要。
- このため、**財務局職員の意識・スキル向上**を目指し以下の取組を実施。
 - ・取組の趣旨や方向性を示す「**地方公共団体等の課題解決支援における取組指針**」を策定。
 - ・**地方向け実地監査に理財局職員が同行**して直接サポート。
 - ・外部講師を招聘した**職員向けセミナー**等を開催。

官民ファンドによる地域案件発掘等の深化

- 多くの官民ファンドについては、地域拠点が無く、地域金融機関等とのネットワーク構築も十分できていないため、
官民ファンドや支援施策の存在そのものが知られておらず、案件発掘も難しいという課題が存在。このため、令和
4年度以降、財務局のネットワークを活かして、地域金融機関等を対象とした官民ファンドの合同説明会を開催
し、官民ファンドの支援スキームや支援事例等を紹介。
- 本年5月は福岡財務支局にて合同説明会を開催。**金融機関のフロント担当者や地域企業をターゲット**にし
たり、ファンドから**地域での案件組成例を重点的に紹介**するなど、具体的な案件組成につながるよう工夫。
- また、昨年7月の財投分科会において地銀のネットワークを活用すべきとの意見があったことも踏まえ、新たな取
組として、地銀協・第二地銀協と連携し、**全国の地方銀行を対象としたオンライン説明会**も実施。
- 今後も、説明会参加者からのフィードバックを踏まえつつ、運営について改善を図り、引き続き地域における官民
ファンドの活用促進及び具体的な案件組成を支援する。

地域金融機関等向け官民ファンド合同説明会（財務省・福岡財務支局主催）

●説明を実施した官民ファンド

環境関連支援	(株) 脱炭素化支援機構
公共施設等整備等支援	(株) 民間資金等活用事業推進機構
産業競争力強化 スタートアップ等支援	(株) 産業革新投資機構 (株) 日本政策投資銀行 特定投資業務
海外展開支援	(株) 海外需要開拓支援機構 (株) 海外交通・都市開発事業支援機構 (株) 海外通信・放送・郵便事業支援機構

- 当日は対面とオンラインのハイブリッド形式で開催。合計で35の地域金融機関や企業が参加。
- 説明会後は名刺交換を含めた交流の機会を提供。
- 官民ファンドによる支援の周知、地域金融機関等との間におけるネットワーキングの促進を達成。

●説明会参加者（金融機関、民間企業、地方公共団体等）の声

官民ファンドについて何も知らなかったなので、知るきっかけとなった。

組織の内容や投資検討のポイントを知ることができた。

（名刺交換・意見交換を通じ）官民ファンドとのネットワーキングができた。



○令和6年5月14日開催@福岡財務支局（ハイブリッド形式）